

# 【北海道通信(6月14日号)に掲載されました】

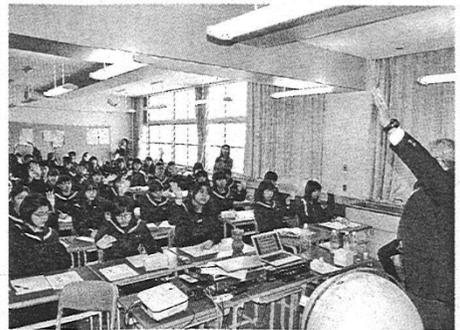
本校の「総合的な学習の時間」では今年度より、羽幌町シーバードフレンドリー推進協議会と連携して、「自然環境の保全と羽幌の地域産業」について学習する目的のもと、1年生を対象としたシーバードフレンドリー出前講座を実施しました。

今後、河川の水質調査や海鳥学習について、精力的に取り組んでいきます。

## 環境保全の重要性学ぶ

羽幌高が1年生対象に

### シーバードフレンドリー出前講座



解を深めた。

羽幌高は、町のシーバードフレンドリー推進協議会

【留萌発】羽幌高校(宮下裕加校長)で五月下旬、本年度第一回目の羽幌町シーバードフレンドリー出前講座が開かれた。参加生徒は町内の自然環境などに関する出前講座を通し、環境保全の重要性について理

解を深めた。町のシーバードフレンドリー推進協議会のメンバーとして、「自然環境の保全と羽幌の地域産業の振興」について学ぶことを目的に、本年度から総合的な学習の時間を活用した探究学習を開始。協議会と連携して1年生が年間三十二時間を三年間、事前学習・体験・調査・発表を行い、環境保全について学習する。

今回の出前講座では、導入としてシーバードフレンドリー推進協議会の濱野孝

不法投棄が動植物に与える影響などについて学習した

氏が「ごみの不法投棄が起す諸問題」

について、地域おこし協力隊の木内健太氏が「羽幌の環境を守る基本計画」について講話。自然環境が動植物に与える影響などを説明した。

生徒たちは講座を通し、

「海鳥の腹から出たプラスチックのゴミの量に驚いた」「私も自然を守る活動をしたい」など環境保全の重要性を認識。町内の自然環境について理解を深めていた。